

「人生の最終段階における医療・ケア普及啓発事業」 香川県版 ACP の手引きの作成について

香川県在宅医療推進協議会内に設置した「人生の最終段階における医療・ケア普及啓発検討ワーキンググループ」で検討を進めておりました「アドバンス・ケア・プランニング (ACP)」の手引きが取りまとめられましたので、ご報告します。

香川県版 ACP の手引きの内容

(1) 概 要

- 幅広い世代の県民に普及啓発が図れるよう、分かりやすい手引き (パンフレット) (別添 1 参照) と支援者 (ファシリテーター) が活用するマニュアル (別添 2 参照) の 2 種類を作成しております。
- 人生の最終段階における医療・ケアの方針などの話し合いの結果を書面で残せるよう意思表示の仕方を示すものとしております。

(2) 活用方法

- ACP は、患者と周囲が話し合い、患者の意思を大切にすることを目指すものであり、丁寧な説明が伴わないと、安易に治療をしないよう誘導しているのではないかと、など誤った受け止め方をされる恐れがあるため、マニュアルに沿って手引き (パンフレット) を使うことで、ACP の普及啓発に繋げてまいりたいと考えております。
- そのため、手引き (パンフレット) は、なるべく簡単な内容とし、マニュアルは、ライフステージ (①乳幼児期：0～5 歳、②学童・思春期：6～18 歳、③青年期：19～39 歳、④壮年期：40～64 歳、⑤高齢期：65 歳以上) に応じて、どのような場所で、どのような点に注意して実施すべきかを整理しております。
- ファシリテーターマニュアルは、研修や実際の医療・介護の現場での活用を踏まえ、随時ブラッシュアップを図ってまいります。